

障害児者の音楽療法

～音楽を用いた発達・関係性への支援～

穴戸 幽香里 / 著 株式会社 百年書房 刊

40 数年、音楽療法に携わってきた著者が、自らの長い臨床経験を音楽療法士または知的・発達障害児者のために音楽を活用している人たちに正しいノウハウを伝えるべく書かれた本。ユニークなのは、親子支援めざす中で、子どもを上手に育てるには、まず親を育てることが重要であるとの視点で統一されていること。

自閉症児の母親を助けるため、ブネ楽器による小規模の自主グループから初めた活動が、子ども発達支援センターで母子対象の音楽療法に発展し、やがて心理士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士とケース会議を行う様になり、音楽療法士としての質を高められたこと。そして国際会議への参加と諸外国のミュージックセラピストを訪ね、研鑽を積み我が国での知的・発達障害乳幼児の集団音楽療法プログラムを確立できた経緯が綴られる。

そこで語られる数多くの実例は、障害の有無に関わることなく、非言語的コミュニケーションを養うことが療育にとっていかに大切であることを示している。同時にまた、音・音楽を過信しがちな傾向も戒めており、音楽も諸刃の剣であり、使い方次第では興奮や暴力を誘引する例もあるという。さらには音楽がなくても対象児者と遊べる技術を持つことが音楽療法士には必要であると著者は説く。

著者と一緒に仕事をしてきた臨床心理士が、一つの章を割り、親子の愛着関係をわかりやすく解説しており、併せて親育て、子育てにより理解が深まる内容となっている。

障害児者の音楽療法

—音楽を用いた発達・関係性への支援—

音楽療法士・臨床発達心理士
穴戸幽香里



音楽療法はコミュニケーションのツールであり
あそびの源です

穴戸先生のこれまでの豊富な臨床の経験がこの一冊として世に出ることを、心から嬉しく思うと同時に、日本の子どもたちの、美しい成長を助けるために、音楽療法士ばかりでなく、発達分野の専門家や、幼児教育者、保護者たちにも読んで頂きたいと願っています。—カニクハム・久手利西にまかせて—

百年書房

- ◆出版社：株式会社 百年書房（電話 03-6666-9594）
- ◆発行：2018年9月
- ◆判型：B5判 118頁
- ◆定価：2,500円+税
- ◆ISBN978-4907081492